

第2回 流山市市民参加推進委員会 議事録(概要)

- 1 日 時 令和5年8月30日(水)午前10時00分~正午
- 2 場 所 流山市役所第1庁舎3階 庁議室
- 3 出席委員 関谷委員、齋藤委員、島澤委員、竹井委員、
羽田野委員、井上委員
- 4 欠席委員 無
- 5 傍聴人 無
- 6 事務局 影山コミュニティ課長、安達課長補佐兼コミュニティ係長、
齋藤主任主事、田久保主事、内藤事務員
- 7 議題
 - (1) 令和4年度終了事業の評価
 - (2) 答申に向けたヒアリング実施の有無について
- 8 議事内容

委員長

ただいまから第2回市民参加推進委員会を開催します。

本日の出席は、出席6名、欠席0名で定足数に達しているため、会議は成立していることを報告します。

まず、本日の議事の進行について、事務局の説明をお願いします。

事務局

まず本日の配付資料の確認をさせていただきます。

- (1) 次第
- (2) 令和4年度終了事業評価シート(取りまとめ)
- (3) 令和4年度終了事業評価シート(集計表)

(4) 令和4年度終了事業質問一覧表

本日は、主に令和4年度終了事業の評価シートの取りまとめについて、ご審議いただくものです。また、評価シートの取りまとめ後、答申に向けたヒアリング実施の有無について、ご審議いただきます。

なお、議事録作成事務の都合上、発言をする際はマイクを使用させていただきますよう、ご協力をお願いいたします。以上です。

委員長

お手元の次第に即しまして議題の(1)、令和4年度終了事業の評価についてということで、まず事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局

事務局から説明させていただきます。

各委員の皆様からご提出いただきました評価シートをもとに作成した、委員会としての評価シートのたたき台が資料1になります。

市民参加の方法の選択について、市民参加の方法のスケジュールの妥当性について、事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供についての3項目は、ABC評価の3段階評価となっており、各委員の評価の平均値で判断して案を作成させていただきました。

総評につきましては、各委員の総評の平均値で評価しつつ、事務局案ではABCの3段階評価までを記載しております。

どの事業が他の事業の模範となる、A+にするか、またB-にするかなど、9段階評価の範囲については、委員の皆様でご議論いただきます。

また、コメント欄につきましては、評価の入力の基準にのっとり、当該対象事業の市民参加の運用についてのコメント、改善点の指摘や意見の部分を抜粋して載せております。

本日は、この資料1のたたき台をもとに、各事業について、1、2、3の項目の3段階評価の確定及び総評の項目の9段階評価の確定について、委員会としての意見をまとめていただきます。

最後に、今回作成した評価シートは、対象事業の担当課を含む、全課に配信し、フィードバックいたします。また、市民向けに公表もさせていただきます。

事務局からの説明は以上となります。

委員長

それでは、令和4年度終了事業の評価シートについて審議をしていきたいと思っております。

事務局から説明があったように資料1が、これまで皆さんからいただいた評価を取りまとめたも

の一覧になっておりますので、この資料1をまずベースに、ご審議をお願いしたいと思います。

それから資料2には、評価シートの集計表ということで、どの評価にどの委員が評価をされているのかわかるようになっておりますので、その辺も踏まえながら、一つ一つ確認をして確定させていきたいと思います。

それではまず1つ目、第11次流山市交通安全計画から順に審議を進めていきたいと思います。この事業につきましてはこのお手元の資料1にありますように、今のところたたき台としては、

の市民参加の方法の選択についてというのはB評価、それから の市民参加の方法のスケジュールの妥当性についてもB評価、それから の事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民への情報提供についてはC評価、総評としてはB評価となっております。

のところに各委員からのコメントが掲載されておりますので、これらを踏まえた上で、お気づきの点、あるいは、協議したい点がありましたら、ご発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

A委員

今回、タイムスケジュールを見た時に期間的に短いと思いました。

ありとあらゆる人が関わってくるということを考えると、時間的に短く、簡単に決められてしまったという印象を受けました。市民等の定義として流山市内で務めている方も含めて市民等ということを踏まえると、例えばタクシーやトラックの会社や産廃業者などもその一つです。車を運転していますから。事業所も含めてもっと幅広く意見を集約する方法があったのではないのでしょうか。

タイトな時間の中で、担当課の方も苦労されたと思います。国や県の動向との兼ね合いもあったかと思いますが、何かもっと工夫があればと思います。

やり方は間違っていないが、もっと幅広くという意味では、Bよりは下の方になってしまうのかなというのが私の私見です。

委員長

交通安全計画ということもあり、いろんな立場の方々に関わるため、さらに幅広くご意見を募りながら、計画をまとめることもできたのではないかということで、形としてはいいけれどもさらに幅広く意見を募る工夫や時間が必要なのではないかというふうな意見かと思います。

このことについてでも構いませんし、他のことでももちろん構いませんけれども、他の方ご意見いかがでしょうか。

副委員長

流山市内、市外の方も対象に入ってくると、ヒアリングやアンケートをすると、ものすごい数になり、想像するだけで難しそうではあるが、それに対してどうアクションするべきなのかを含めて提案していく必要があると考えられるので、もう少し考える期間が必要かなと思いました。

委員長

他にはいかがでしょうか。

B委員

市民参加の方法として、審議会等とパブコメを選択していますが、審議会の参加メンバーについてはもう少し間口を広げた方がよかったのではないかと思います。

パブコメを求めるとき、内容について説明する概要版と詳細版のような資料があり、詳細を見るにはネットを見てくださいというようなパブコメの求め方になっていました。

審議会とパブコメ以外の方法を模索してもよかったかもしれないというのは、おっしゃる通りだと思います。

しかし、基本的な市民参加の手段は取られているので、B評価なのかなというふうに感じています。

審議会は4回開催され2回は書面というのがあり、先ほどこういうテーマはもっと時間をかけてやるべきだという話があったとおり、審議会の回数的には、少ないと感じております。

パブコメの結果のフィードバックも実施しているということも踏まえると総合的にはBかなと個人的には感じております。

委員長

方法としては審議会とパブコメという一般的にある市民参加の手法で、それ以外にも日常的に意見を募りながら計画には反映させているという回答にはなっているけれども、指摘もあるように、幅広い立場の方々からの意見を集めるためにもう少し検討が必要かと思います。その辺を一応加味しながら、資料1にありますように、手法の選択、スケジュールについてはB評価、それから総評もB評価。

ただ、の情報提供についてはC評価。C評価というのは、規定を満たした手法ではあるけれども事業趣旨から見直しの必要もあるということですね。

八街市では皆さん報道でご存知かもしれませんが、飲酒運転をしているドライバーによって事故が引き起こされて、小学生が亡くなってしまったというケースがありました。交通安全の環境を整えていくというのは、教育委員会だけでも難しく、そこには例えば警察や、道路の担当部署であったりいろんな部署が連携していかないとならなくて、それぞれの角度からまた市民の意見

というものを求めていく必要もあったりしてなかなか大変な課題でもあります。

どういふふう意見に募っていくのか、そのためにどういふ情報提供をして、市民の方々に考えていただく必要があるのかというあたりは、もう少し検討をしていただきながら、今後に向けてより幅広い手法のあり方を考えていただければということ、盛り込んだ上で、評価としてはBとなっておりますけれども、この事業についてはこういった評価でよろしいでしょうか。

全委員

はい。

委員長

それでは続きまして二つ目の流山市いじめ防止基本方針についてということで、これについてはすべての項目でA評価ということに現段階ではなっております。このことについて、ご質問ご意見等があればお願いをしたいと思います。

副委員長

2番目の議論に行く前に事務局に確認したいのですが、総評について9段階のどれにするのかという議論をしなければいけないのかなと理解をしていましたが、この場では決めないのか、それとも9段階で決定しなければいけないのか確認です。

事務局

9段階評価も含めてご議論いただければと思います。そのため、先ほどの第11次交通計画は、9段階評価も含めた中で、B評価という判断に皆さんが至ったと理解しております。

委員長

総評については9段階の中で評価するというにはなっていますが、事務局提案として、事前に3段階で、たたき台を作っていただいています。議論の中で1つ目の事業について、B-ではないかというご意見が多いようであれば、全体としてB-という評価もありうるところで、そのような趣旨でお考えをいただければと思います。

資料3の4ページのところに総評で、A+からC-までの9段階で評価するというにはなっておりますので、たたき台をご覧になりながらお気づきの点がありましたら、ご指摘をいただければと思います。

1つ目の交通安全の計画については、B評価ということを先ほど確認させていただきましたけれども、特に異論がなければ、これについてはB評価にさせておいていただきたいと思います。

それでは二つ目のいじめ防止基本方針については今のところをすべてA評価になっておりますけれども、ご意見あればお願いしたいと思います。

B委員

ここは改善が必要という評価をしている方はどなたもいません。

方法の選択も適切かなと思います。スケジュール的にもパブリックコメント等で、16件ぐらいの意見がありましたが、全部反映する形でフィードバックかけています。スケジュール的にも、問題ないかなと、見受けられましたのでAでいいと思います。

総評については一旦、A、B、Cの3段階にして、それがA+になるのか、A-なのか、B+なのかB-なのかという議論を最後にすれば、相対的に見てみて議論がしやすいと思います。

そのため現状はAでいいのではないかなと思います。

A委員

1つ目と2つ目の事業を比較した時に対象の母数がかなり異なると思いますが、実体験を含めて子育てをしている市民の意見の吸い上げは良くされていると思っています。

私もB委員と同じで、きちんと実施しているのではないかと考えられるので、A評価でいいのではないのでしょうか。

委員長

実際にいじめを受けた子どもからのヒアリングが可能なかどうか、また、されているのかどうかという点では、アンケートを実施した上でそういう子がたまたまいて、その子の意見はしっかり聞いているという回答がありましたけれども、なかなかそういった子どもたちを対象にというのは難しいところもあると考えられるため、現状として妥当なのはこの手法なのかなと思います。

あともう一つ気になったのは、教員の方がどういうふうにいじめの現場を見ているのかと言った時に、学校内部の事情とそれから教育委員会との関係で、なかなか言いたいことが言えないというケースも、他の自治体だと結構見られます。しかし、その辺は意見聴取ができたという回答になっておりましたので、そのことも踏まえた上で評価を確認していただければと思います。

特に問題がないようでしたらこの事業の総評については、A3名、A+1名、A-1名なので、A評価が妥当なのかなというふうに思いますが、これでよろしいでしょうか。

全委員

はい。

委員長

それでは続きまして、3つ目の白みりんミュージアムです。この事業についてはすべての項目でB評価というふうになっております。このことについてご質問、ご意見とかあればお願いしたいと思います。

C委員

アンケートはいろんなところで取っているため、全般的な意見があるかなというふうには思うが、もっと白みりんの魅力を知ってもらった上でアンケートを取る必要があったのではないでしょうか。

B委員

他の事業の模範になると評価をする人もいれば、改善が必要だという評価をする人もいて割れた評価になっています。

私は白みりんミュージアムを作ることが前提になっていると感じました。市民全体は本当に、ミュージアムが欲しいのか、作るのであればどこに作るのかというような声を聞く機会がすくなかった。

この委員会は市民参加の度合いを評価しているのであり、事業についてはコメントしないが、市民参加の機会が少なかったというところでC評価の改善の余地ありかと思えます。

それから、アンケートを読んだけれど駐車場が駅から遠いなどその辺の改善のコメントが多くあったような気がしたが、それに対してどういう手を打とうとしているかがあまりクリアに見えなかったです。

総評はBもしくはCレベルではないかなというふうに感じております。

委員長

市民参加の視点ということでは、この白みりんミュージアムについての関連情報がどれぐらい市民に提供されていたのかという部分が、少し不足していたのではないかと、それから、審議会、イベント参加者からアンケート調査をするということで、そもそも論の意見をもらうような市民参加の手法ではなかったと見受けられます。

これがどの程度白みりんミュージアムありきで進んでいたのかはよくわかりませんが、もし意見をもらうのであれば、今指摘いただいたように、もう少しこの計画ありきということだけではなくて、そもそも論も含めていろんな立場の方々から意見をもらうということが、手法としてはできたのではないかと。そういう意見かと思いますが、他にいかがでしょうか。

D委員

私もアンケート等の対象がシートでは全市民等と書いてあるのですが、実際はイベントにきた方から意見をいただいたアンケートであったということが気になります。協議会委員14名の名簿が公表されていないことについて質問をしたところ、回答に商工会議所や観光協会の方ですという、回答があったのでいわゆる公募市民や地域の方が入っていないのだなということを感じたこともあり、Bより下なのかなと判断いたしました。

委員長

参加しているメンバーが限られているというところも非常に大きな課題のように映りますけれども、他にご意見いかがでしょうか。

副委員長

私から意見申し上げるのはどうなのかなと思うところもありますが、まちづくりの専門でもあることから、申し上げたいことがあります。

意見の収集に関して課題があるというところで、資料4の8番目のところに担当課からの回答というところがあり、どのような意見収集を行ったのか具体的に数字として出ています。その中に対面のアンケート260人、それから県内及び県外の住民に対してウェブアンケート1000人やりましたと、そういうところは評価していいのかなと思っております。

足りないところは地元住民の意見収集なのかなと思い、対面アンケート260人の中に地元の方の意見がどれだけあったのか、ミュージアム整備事業を実施するにあたって、近隣住民の方の協力とか、近隣商店の方にどれだけ意見集約したのか。アンケートではなく、ヒアリングでやらなければならないことを書いている感じがあるので、そこは不十分だと思います。

C委員

作る、作らないというのは委員会の範疇ではないが、意見収集という点ではやはり、B評価が妥当なのではないでしょうか。

委員長

模範というところまでには至っていないが、一方でそれなりに手法を駆使しながら意見は聴取しています。ただその中には、もう少し工夫を施して、さらに幅広い意見を募ることもできたのではないかというご意見もありました。

総評は、B1名、B-1名、C+1名、C1名なので、このままB、場合によっては、B-もあ

り得るかなというところですけども、ご意見とかあれば、いかがでしょうか。

B委員

協議会を実施しているけれど協議会は1回しか開いていません。アンケートも期間的にもすごく短期間に話し合いがされているように感じます。

予定調和な雰囲気が見えるので、トータル的にはB評価ではなくC+となり、もう少し改善しなければいけないのではないかと思います。

委員長

他の皆さん総評はいかがでしょう。

A委員

白みりんミュージアムは今回初めて知りましたが、ミュージアムというのは博物館的な要素もあり、子どもたちの教育、社会科見学的な位置付けでこの施設を活用するとしたら、学校関係者を通じアンケートを配るなど、もっと幅広く意見を集約する方法があったのかなと思いました。

委員長

難しいところでありますけれども、B-ないしC+のところかと思いますが、他のご意見はありますでしょうか。

C委員

大変判断に難しい中で委員長の一任で決めていただくのはどうでしょうか。

B委員

この委員会で議論しているのは、この事業に対して、市民参加の度合いを評価しているのであり、事業の中身については関知していません。

事業の案を作る上で、流山の市民がいかに関与したか、その度合いがどうだったのか、逆に言えば行政側からどのように参加してもらう手段をとったか。そこを評価しています。

その観点で評価するという意味では、基準があり、模範になったのか普通なのか、改善の余地があったのかということを中心に議論をして、最終的にそれがAなのかBなのかという、合意をとっていくのがこの委員会だと思います。そのため、委員長に一任しますという話は筋が違うと思います。

C委員

反論するつもりは全然ありませんが、いろいろ意見がある中でB-、あるいはCの人もあります。皆さん意見を申し上げているから、あとはどう判断するかというと、委員長か誰かが決めないと誰かはB-、誰かはCと意見が異なることになってしまいます。そういう意味での委員長の一任ということでございますのでご理解いただきたいと思います。

D委員

今の議論の中で皆さん個人的な心証は、B-という意見が多く、私もBより上にはいかないと思っているので、ものによっては委員長一任というものがあり得るかもしれませんが、この総評はB-でいいのかなと思います。

委員長

この委員会としては一つの評価にまとめ上げますので、皆さんの意見を伺いながら、結果をまとめられたらと思います。

指摘のあったように手法、形式的には的確であるけれども、もう少し幅広く、あるいは他も含めて、実施した方がよかったのではないかという意見が比較的多いように思いますので、そういう意味では、B-になるかなと思います。

積極的に評価できる部分もあると意見もありましたので、総評についてはB-でいいのではと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

全委員

はい。

委員長

続きまして4番目の第4期流山市地球温暖化対策実行計画ですけれども、これは評価が分かれている案件の一つかと思われます。

それぞれ、
、
についてはB、A、Cとなり、総評はB評価にたたき台はなっていますが、皆さんの着眼点によって、かなり異なっているところもあったと思うので、この事業について何か質問、意見あればお願いします。

B委員

この事業はのところのポイントかなと思います。事業そのものが難しい内容で、数値目標的なものが羅列されている傾向がありコメントするのが、非常に難しいと感じました。審議会も回

数は実施していると思いますが、パブコメのコメントが2人3件になっています。

市民に計画をわかりやすくするため、一般家庭の取り組みの資料の提示などがあれば、もう少し市民からの声もあったのではないかと思います。

全体的に見ると のところをC評価にしているのは3名いて、皆さん同じように感じたのかなと思います。

そのため、情報提供のC評価は妥当だと思います。

委員長

指摘のとおりパブコメの件数が非常に少ないというのは、原案を読みこなしていくということかと思っています。

パブコメの一般的な傾向でボリュームが多く内容が専門的過ぎるものは、コメントするのはなかなか難しくなります。

パブコメの限界を感じるころではありますが、違った言い方をすれば、もっと市民目線で、市民がこの地球温暖化について、日常生活のレベルで、どんなふうに考えることができるのかといったような視点から情報提供がもっとなされていかないと、一般論としての温暖化防止で終わってしまいます。これでは市民が自分の問題として考えることが、なかなかできないということは私も同様の印象を持ちました。

そういう意味では、もっと積極的な情報発信を踏まえた上で、意見を募っていくことをしないと、パブコメの件数に象徴されているように、市民としての意見を増やしていくのは難しいのではないかと思います。

A委員

広報ながれやまなどの市民向けに発信するツールの中で特集号を作り、基礎知識の醸成を図り、最後の結論で、今、パブリックコメントを募集しています、応募先はこちらですとしている事例はご存知ですか。

事務局

詳細は分かりかねますが、特集号の一面に掲載して、パブリックコメントの概要も入れつつ広報したという記事はあまり印象にありません。

一面の特集枠は1年も前から調整して上げていますので、パブリックコメントの時期がどうしてもこの時期しかないというものだと、なかなか一面の枠を確保するというのは広報紙としても難しい部分があると思います。

現状は、一面以降の二面、三面等で、タイトルと手続き方法をお知らせしています。

B委員

特集号ではありませんが、パブリックコメントを募集していますというは出ています。

私もグリーンバスについてパブリックコメントを募集しているのを見て、コメントをしたことがあります。市民に呼びかける動線としては広報ながれやまでも分かるようになっていきます。もっと別のメディアで、パブコメを実施しますと宣伝、案内するのもいいのかなと感じました。

委員長

パブコメを実施する際の工夫のしどころという話で、特集を組むケースは他の自治体でもそれなりにあります。しかし、件数はなかなか増えないというのが現状です。

広報を発信する側は広報にするというのはすごく大きなことで多くの人に影響があると考えますが、情報を受けとめる側からすれば、そういうことをやっているのだなとスルーされるケースが圧倒的に多いです。

例えば温暖化の問題であれば、日常生活の中で環境について考えられる場面で情報発信をする、あるいは市内各地に特設コーナーを作るなど行わないと難しいと思います。

そういう意味では、今回の情報発信という点は今のところC評価となっており、足りてない部分があるのではないかなと思います。

副委員長

特にこの温暖化対策というのは、もはや市民レベルの意識変容にかかってくるところだと私は理解しています。そういった理解のもとに、この事業計画の策定に至るプロセスを精読する中では市民啓発、市民参加の部分は不足していると思います。

そういったところを考えると、B評価をつけるのは難しいのではないのかなというのが私の正直な意見です。

本当に、温暖化対策の計画を作るというのであれば、もっと市民啓発や市民参加に対して意識を持っていただく必要があるなと思います。

委員長

これまでの議論だと、 の情報提供についてはC評価が妥当かなというところですが、今の副委員長のご意見は総評の部分もC評価にした方がいいのではないかなという意見であったと思います。

パブコメというのは市民から幅広く意見を募ることにはなっていますが、市民参加の点からするとパブコメを実施して市民参加を行ったことにするという、アリバイづくり的な側面が場合に

よっては垣間見えるところがあります。今回がその事例とするかどうかわかりませんが、そういうふうに見えてしまう部分が、資料内容からすると見られるというのが今のご意見かと思います。

他の皆さんいかがでしょうか。たたき台はB評価になっておりますが、もっと厳しい評価をされる方いますか。

B委員

一部でもC評価であれば改善の余地がありとなるため、総評についてもBじゃなくてB-、C+であると思います。

副委員長

BとCの大きく分かれるところは、資料3の4ページ目にあるとおり、Bは当該事業の市民参加の手法が適切であるということ、Cは条例で規定された市民参加の手法は実行されているというのがCです。この委員会でBに評価をするということは、この事業の総評として、当該事業の市民参加の手法は適切だと評価をするということになり、果たして、この事業はそれに該当するのかというところで、皆さん考えていただければと思います。

委員長

なかなか悩ましいところではありますが、要するにBなのかCなのかを決めた上で、+、-をつけていくことになるかと思います。

そのため一定の適切な手法を用いられているが、もっと幅広く積極的な情報提供が望ましいのではないかというところで、B-の方が比較的多いように思われますけれども、B-ということではいかがでしょうか。

B委員

一部C評価があるにもかかわらず総評は可もなく不可もなくのBですというのは整合性がないように思います。

もしB-にするのであれば、 の評価も考え直してみたらどうかと思います。

委員長

どこにウエイトを置くのかということや、事業の内容によって総評は変わるところもあると思います。

この地球温暖化については、情報の発信共有というところが大事だということも含めて、総評としてはB-でいいのではないかというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

はい。

委員長

このあと5番目の事業を評価することになりますが、都合により退席することになります。司会進行については副委員長にお願いすることで、事務局の方にも了承いただいておりますので、これ以降の主幹については副委員長にお願いするということでご了承ください。

副委員長

司会進行を委員長からバトンタッチさせていただきます。

時間が残り30分しかなく、これまで1時間半で4事業になりますので、少しスピードアップさせていただければと思います。

それでは、5番目の流山市空家等対策計画及び流山市住生活基本計画の議論をいただきたいと思います。現状としては、市民参加の選択についてはB、市民参加の方法スケジュールの妥当性についてはB、事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供についてはC、総評がBということになっておりますが、これについて皆様いかがでしょうか。

B委員

パブコメについての資料が2つあり45ページのもの、65ページのもの、計120ページ掲載されていて、概要もありますが、これを読みコメントするというのは大変だと思いました。もう少しわかりやすい情報提供がないとパブコメを実施しても意見は集まらないのではないかと感じました。

副委員長

ありがとうございます。その他意見ありますでしょうか。

D委員

審議会も書面で行われていること、審議会の構成メンバーも自治会員や、そこに住んでいる方は構成員に入っていないくて、現場の方がいないのかという印象があったので、総評もB-かC+という印象です。

副委員長

市民参加については、不十分であるというところでは意見が一致しているのではないかと思います。

パブリックコメントが8件回答を得られているということ、アンケートは277人に配り回答が87人ということで、3分の1いかないところではありますが、そういった方から意見を集約していて、必ずしも市民参加をやられていないわけではないというところではあります。

空家対策等のところで市民参加を考えたときに、空家を持っている方とか、その近隣住民の話になってきて限定的なところもあり意見を募るのは難しいところもあるかなと思います。

そういった中で、市民参加を考えたときに、C評価には至らないのかなと思います。

副委員長

総評については暫定的に決めて最終調整するというところもありますので、B-ということにさせていただければというふうに思います。

引き続き、流山市下水道ビジョンというところで、全部A評価になります。皆様がいかがでしょうか。

B委員

特に私がいいなと思ったのは、パブコメを審議会で諮るというスケジュール感がいいなと思いました。

従来は審議会が終わった後にパブコメを実施して、パブコメで言われたことに対する修正はどうなるのかという議論がよくあります。しかし、これはその期間をとっているのがよかった。

また、パブコメを求める時の資料についてグラフや写真をいっぱい使っていて非常にわかりやすくよかったと思います。

D委員

私も実際パブコメの資料をいただいて読みましたがよかったと思います。

ただ、コメントに書いてあるように、図書館や生涯学習センターに行ったときに、実施中のパブコメはホワイトボードに書くようになっているのですが、そこに何も書かれていませんでした。内容がよかったと思っているので総評もA、A+だと思っています。

C委員

A+だと完璧ということになりますよね。Aはいいと思いますけど、完璧というのはどうかと思います。

B委員

総評をA+にするというのは、去年行った事業の8事業の中で、市民参加の方法、手法がよく他の課も参考にできるものだと思います。

A委員

指摘事項が全くないというケースはなかなかないと思います。

ホワイトボードに掲示されていなかったから減点となり、A+はつけられないという話になってくるとA+の存在価値がなくなり、逆にC-は0点なのかというような話になりかねないと思います。そういったことを考えれば、Aよりも、A+をつけていいのではないかと思います。

副委員長

この事業に関してはA+で次に行きたいと思います。

子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～というところで7番目の事業に対して皆様いかがでしょうか。

今のところ、Aとなっていますがいかがでしょうか。

A委員

手法について先ほどB委員からもありましたが、パブリックコメントを9月に1回実施していることを考えると、下水道事業と同等の評価を与えても私はいいのではないのかなと思います。そういった意味では、私はAもしくはA+でいいのかなと思います。

副委員長

その他ご意見ありますでしょうか。

B委員

パブコメの告知をLINEアカウント「ながれやま市子育てちゃんねる」というのでもいい、工夫がされていました。

副委員長

A+という意見が大半でございました。

ということで今の段階では、A+というところで次に進めさせていただきたいと思います。

最後、(仮称)流山市多様性を尊重する社会推進条例の制定について、現段階ではB評価にな

っておりますが皆様いかがでしょうか。

B委員

平均をとるとBになるというのは感じますが、多様性の審議会、男女共同参画審議会というところで、多様性を議論しているようですが、推測すると多様性を男女のことだけで話し合っているのではないかと思いました。

老若男女、流山に住んでいる外国の方、障害をお持ちの方など、そのような方で多様性について議論をしたというのであれば、みんな参加したととれますが、どうも多様性を男女の話、男女平等に包括して議論したのではないかと思われま。そのような審議会であったような気がしており、担当課にフィードバックをかけた方がいいのではないかなと感じています。

D委員

私もB評価と考えていましたが、B委員の意見のように男女の話に限られているのではないかと思います、フィードバックをするために総評を下げるということが必要かと思いました。

A委員

総評をBにするか、B-に下げるか、話を戻しますが3番の白みりんミュージアムのときにB、 B、 Bで総評をB-にしている。

事案は違いますが、それを考えればB-の評価であってもおかしくないと思います。

副委員長

暫定的に B、 B、 Bの総評がB-ということにさせていただきます。

駆け足になりますが、すべての事業の総評を読み上げさせていただくと1番が総評B、2番が総評A、3番が総評B-、4番が総評B-。それから、5番がB-、6番がA+、7番がA+、8番B-になっています。

この評価の中で皆様何かご意見ありますでしょうか。

A委員

から まででは変更しないという前提でよろしいでしょうか。そうすると1番のところは B、 B、 Cで総評B、5番のところは B、 B、 Cだけど総評B-というのは整合性が取れなくなってしまう。

、 の評価を今から変える時間もないと考えると、1番もB-とするべきかと思えます。

B委員

から までの中にCがあったら総評はCの方がいいと思います。

どこにウエイトを置いたかという観点で言えばCがあっても、総評Bをあげてもいいのではないかとことを言われていましたが、私は から の中にCがあるのであれば、総評はCだと思います。

副委員長

C評価は条例で規定された市民参加の手法は実行されているということになるので、最低評価ではないと私は思っています。C評価の下に、条例で規定された市民参加の方法も実行されてないという評価があるといいなと思います。

しかし、単純にC評価が入っているから、総評もC評価になるというのは、機械的すぎるかと思います。この評価区分というのが決まっているので、その中でお考えいただければと思います。

A委員

この評価の基準の考え方というのはここ数年来変わっていませんか。

事務局

変わっていません。

基本的な考え方はすべて統一ですが、C評価より下のD評価は過去にありました。条例の基準を満たしていない場合にD評価という項目がありましたが、1回もついたことはありませんでした。そのため、D評価は表記しなくなった経緯があります。

B委員

市民参加について脈々と引き継がれたものが市役所の中でも周知されていることや、市民参加推進委員会の答申によって、市民参加全体のレベルが上がってきていると思います。

市民参加の手引書も去年改版していることを踏まえて、今回は厳しく評価している背景が少しあります。

C委員

C評価が1つあったら総評もCではないといけないというのはいかがなものでしょうか。私は委員長が言ったように、どこに重きをおくか考えた方が妥当性は高いと思います。

副委員長

今の皆様の意見を踏まえて総評について再検討したいと思いますが、この事業については総評を変えた方がいいという意見を伺いたいです。

A委員

私は1番の交通安全計画についてはBではなくて、B-だと思います。

副委員長

他に意見ありますでしょうか。

B委員

1番について総評は納得しましたが何らかの形でフィードバックをかけたいと思います。

副委員長

他にご意見ありますでしょうか。

総評については1番をB-にするというところで他は変わらず、2番はA、3番はB-、4番はB-、5番がB-、6番がA+、7番がA+、8番がB-と決めさせていただきたいと思います。

A委員

6番、7番について同等の評価をしていることを考えると2番もA+だと思います。

副委員長

異議のある方いらっしゃいますでしょうか。なければ2番をA+に変更します。

他に意見がなければ答申に向けたヒアリングの実施について事務局から説明があります。

全委員

異議なし。

事務局

答申に向けたヒアリングの実施について、議論いただければと考えておりましたが、時間も押しておりますので、皆さんがよろしければ、こちらの案件についてはメールで事務局から案内し、その回答を皆さんからいただいて、賛成多数により実施の有無を決定させていただければと考えていますがいかがでしょうか。

全委員

はい。

事務局

ありがとうございます。その形で進めさせていただきます。

副委員長

本日の議題は以上で終了しました。

ありがとうございました。